



## 石積み跡などで 峠の歴史を理解

宇津峠散策イベント

飯豊

旧越後街道十  
三峠の一つ、宇  
津峠を歩くイベントが22  
日、飯豊町内で開かれ、旧  
国道113号の石積み跡な  
どを巡りながら峠の歴史に  
理解を深めた。写真。

町手ノ子地区協議会宇津  
峠部会（高橋純会長）が主  
催し、町内外から約20人が  
参加。落合地蔵尊を出発し、  
町教育委員会が中心となり  
分布調査を進めている石積  
み跡や、英国人旅行家イザ  
ベラ・バードが眺望に感銘  
を受けたとされる「イザベ  
ラ・バード遠望地」などを  
巡った。

旧国道113号は189  
4（明治27）年に開通。石  
積みは道路の崩落防止のた  
めに築かれたとみられ、大  
小3カ所現存する。このう  
ち最も大規模なものは長さ  
が約30㍎、高さが最大5㍎  
以上あり、町教委の高橋拓  
主事（41）は「強権を有した  
明治政府だからこそ大規模  
な工事ができたのだろう」

と解説した。

2度目の参加という井上  
由佳さん（35）は「同町手ノ  
子、町職員は「前回は石

積み気付かなかった。解  
説を聞いて巡ると時代の流  
れを感じる事ができる」  
と話した。